

カクムネチビヒラタムシ

分類 鞘翅目ヒラタムシ科

学名 *Cryptolestes pusillus*

英名 Flat grain beetle

別名 カクムネヒラタムシ
カクムネコクヌスト



■解説

本種は、世界の熱帯～亜熱帯に広く分布し、わが国では山形県酒田市以南の各地で見られ、年3～4回の発生と推定される。成虫・幼虫ともに穀粉、碎米およびその加工品などに発生する。

穿孔能力は劣るが、扁平な体のため包装資材の縫い目、ピンホール、シール不良部分から製品へ侵入することがある。

わが国からは、穀類を加害するヒラタムシ科として、本種の他にサビカクムネチビヒラタムシ (*Cryptolestes ferrugineus*)、トルコカクムチビネヒラタムシ (*Cryptolestes turcicus*) およびハウカクムネヒラタムシ (*Cryptolestes pusilloides*) が報告されている。これら4種は、形態が極めて類似しているため、同定は困難を要す。

■体長

卵 : $0.58 \pm 0.02 \times 0.15 \pm 0.01 \text{mm}^1$

幼虫 : 3mm 前後²⁾

蛹 : 1.8mm 前後²⁾

成虫 : ♀2mm 内外 ♂2.3mm 内外²⁾

■産卵数³⁾

産卵数/生涯 : 約 200 卵 (*Cryptolestes spp.*)

■ライフサイクル³⁾

卵～成虫 : 27～30 日 (33°C 80%R.H.)

■発育零点 (発育停止温度)

—

【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. : J.Kansas.Entomol.Soc., 47(3), 308 (1974)
- 2) 原田豊秋 : 食糧害虫の生態と防除, p.526, 光琳 (1984)
- 3) C.P.Haines et al. : Insects and Arachnids of Tropical Stored Products Their Biology and Identification (A Training Manual), p.273, Storage Department Tropical Development and Research Institute, UK.